



重点分野2 (中目標)	基礎的な社会サービスの向上										
開発課題2-1 (小目標) 教育環境の改善	【現状と課題】 同国は、国家発展のため人材育成を重要視しており、歳出に占める教育支出の割合は約20%（同国政府、2018年）と比較的高いものの、依然として不十分であり、とりわけ設備投資、人材育成及びカリキュラムの改善等の課題を有している。			【開発課題への対応方針】 草の根・人間の安全保障無償資金協力等のスキームを通じた支援を実施し、不足する小学校教室の建設等を中心に初等教育等の教育環境改善に取り組む。上記方針を通じ、持続可能な開発目標4（教育）等の達成に貢献する。							
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2019年度以前 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 支援額（億円） 備考						
	教育開発プログラム	教育環境の整備を通じ、同国の人材育成に貢献する。		教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	0.37					
				「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程及びインターンシップ」プログラム	国別研修						
教育・コミュニティ開発分野における研修				課題別研修他							
開発課題2-2 (小目標) 保健医療サービスの拡充	【現状と課題】 財政難を抱える同国において、保健医療サービスへの予算配分は限定的であり、医療機関における設備投資や備品等の不足が深刻な問題となっている。また、医療従事者の育成及び能力強化も急務となっている。			【開発課題への対応方針】 草の根・人間の安全保障無償資金協力等のスキームを通じた支援を実施し、基礎医療等の社会サービスへのアクセスを向上させる。医療インフラの整備、社会的弱者への支援等を中心に取り組む。上記方針を通じ、持続可能な開発目標3(保健)等の達成に貢献する。							
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2019年度以前 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 支援額（億円） 備考						
保健医療システム強化プログラム	医療従事者の育成や医療インフラの整備を通じ、同国の保健医療環境の改善を支援する。		保健分野における研修	課題別研修他							

【凡例】 「協準」（＝全ての協カ準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協カプロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協カ）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協カ（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協カ）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協カ）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協カ）、「水産無償」（＝水産無償資金協カ）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協カ）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協カ）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協カ）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協カ）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協カ）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実線「――」）（＝実施期間）、破線「- - -」（＝実施予定期間）  
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。